

6月12日(月)

真実な創造者

聖書朗読 創世記 2章

それゆえ神は、この方を高く上げて、すべての名にまさる名をお与えになりました。
ピリピ 2:9

神様があらゆる野の獣とあらゆる空の鳥を形造って、アダムがそれを何と呼ぶかをご覧になるために、彼のところに連れて来られた(19節)というのは、私にはすごく面白く思えます。神様が、いろいろな面白い恰好をした生き物を次々と連れて来られた時、アダムは一体どんなことを考えたんだろうと思わずにはいられません。アダムが名付けると、神様はそれをその名にされたというのが、私はとても気に入っています。

それから長い年月が過ぎ、人が新しく生まれることができるようになりました。キリストにあるバプテスマを受けた者は“新しく造られた者”になりました。(Ⅱコリント 5:17) 神様は、私たち一人一人が“新しいいのちに歩む”(ローマ 6:4)ようにと連れ出してくださいました。そして、周りで見ていた者たちが、ぴったりの名前を付けました。(使徒 11:26) 今でも呼ばれているキリスト者という名前です。

キリスト者という名前ゆえに多くの苦難がもたらされました。今ももたらされています。キリストは、ののしられ、痛めつけられ、捨てられました。ペテロは、キリストの御名のために起こった試練を不審に思っはいけないと注意しています。多くのクリスチャンたちが証しているように、私たちの“真実な創造者”の御力とお約束を信ずるに至った者は、理不尽で言語に絶する苦しみにあっても、いっそう喜ぶことができるのです。(Ⅰペテロ 4:13、19)

私たちにいのちの息を吹き込まれたお方は、いかなる悪にも打ち負かされることはありません。ですから、キリスト者であることを恥じることなく、善を行いつつ、“御名のゆえに神様をあがめ”ましょう。(Ⅰペテロ 4:16)

聖歌 472

祈り お父様、御力によって私たちが造ってくださったことを感謝します。私たちが強めて、キリスト者という名を大胆に身に帯びることができるようにしてください。イエス様のお名前によって祈ります。アーメン。

テキサス州 アメリロ
デイヴィッド パウンズ

今日の力

2023年6月12日～6月18日

翻訳 岡元 裕子

編集 野口 恵美子

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

6月13日(火)

やり過ぎ？

聖書朗読 IIサムエル記 17:28、29

しかし私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことにより、神は私たちに対するご自分の愛を明らかにしておられます。

ローマ 5:8

今日の聖書朗読箇所には、神様がダビデ王と彼の兵に供給された物のリストが長々と記録されています。記載されている品目は、寝台から凝乳、チーズにいたるまで、ありとあらゆる物にわたっています。こういう記述形式は情報過多ではないかと思う人もあるかもしれません。神様の贅沢はやり過ぎですか。

全人類が批判し、恩をあだで返そうとしたとしても、神様の忍耐と変わらぬ寛大さを感じなければなりません。アドナイ・イルエ（備えてくださる神）は、ご自分の御業を真摯に受け止めておられます。イスラエルの民に四十年間、マナを与え続けられました。預言者エリヤは、朝・夕、日に二度、神様が何羽かの鳥に運ばせたパンと肉によって養われました。五つのパンと二匹の魚を用いたイエス様の革新的な奇跡によって、何千人もの人が食べて満腹しました。「やり過ぎですよ！」と言いたくなるかもしれません。

パウロは、私の神は“キリスト・イエスの栄光のうちにあるご自分の豊かさにしたがって”あなたがたの必要をすべて満たしてください（ピリピ4:19）、と書いています。ご自分の豊かさにしたがってですって！大富豪と貧乏人が、それぞれの富に応じて与えたとしたら、どんな差になるか想像してみてください。神様は、実にひとり子イエス様さえもお与えくださいました。まったく、やり過ぎと言うほど世を愛されました。

讚美歌 453

祈り 天のお父様、あなたは、あり余るほどのものを与えてくださる驚くべきお方です。私の心は感謝であふれています。とくに御子をお与えくださったことを感謝します。イエス様のお名前によって祈ります。アーメン。

オクラホマ州 ベサニー
ビル・アドコックス



6月14日(水)

とっさに祈る

聖書朗読 ネヘミヤ記 2:4~8

望みを抱いて喜び、患難に耐え、絶えず祈り励みなさい。

ローマ 12:12

献酌官（けんしゃくかん）*であったネヘミヤはアルタクセルクセス王の前に出ました。王はネヘミヤに何の用かと尋ねました。とっさにネヘミヤは祈り、それから話し出しました。その祈りは、膝をかがめて祈り、所定の方式で終わるような儀礼的様式の祈りではありませんでした。へりくだって、神様の前に手を伸べ願いました。彼には王に言う正しい言葉が必要だったのです。（*訳注：王の飲む酒の毒見役。王の信頼を受けた人で、常に王の側にいて、王と親しい関係にあり、政治的な助言もした。）

『彼らが呼ばないうちに、わたしは答え、彼らがまだ語っているうちに、わたしは聞く。』（イザヤ6:24）と神様はおっしゃいます。即座に、神様は働かれます。今までにとっさに祈ったことが、どれくらいありますか。

ネヘミヤは、神様が彼の心配事を気にかけてくださっていることを知っていました。『わが神の恵みの御手が私の上にあったので、王はそれをかなえてくださった。』

（ネヘミヤ2:8）神様は、私たちが神様に頼ることを望んでおられます。神様いつでも手を広げて待っておられます。あなたが祈りをつぶやく途端に、すぐ側におられます。今日、あなたがどんなことに立ち向かうとしても、信仰をもって神様のもとに行きましょう。神様はただちにあなたの祈りを聞き、御力を示し、忠実に答えてくださいます。私たちは自信を持って、王の王たるお方の前に出ましょう。神様は、私たちが必要とするすべてのことを聞きたいと思っていられいますから。

聖歌 651

祈り 天のお父様、常に私の心の内にいらしてください。私が呼ぶ時、聞いて、あなたのみこころに従って答えてください。あなたは私の力です。イエス様のお名前によって、大胆に祈ります。アーメン。

コロラド州 プエブロ
キャロル・ローズ



6月15日(木)

御言葉によって怒りから解放される

聖書朗読 詩篇 37:1~11

愛する兄弟たち。あなたがたはそのことを知っているのです。しかし、だれでも、聞くには早く、語るにはおそく、怒るにはおそいようにしなさい。人の怒りは神の義を実現するものではありません。
ヤコブ 1:19~21

昨今は怒りの日々が続きます。世界を見渡しても、国内を見ても、この世は不正、不公平、怒りに満ちています。どうやって改善したら良いかについて、まとまらないようで、ただ怒りだけが煮えたぎります。

私は牧師として、家族や教会の中にも、規模は小さいながら、同様の現実を見えています。時々、誰かを傷つけようとした訳ではないことに、腹を立てる人たちがいます。心の奥底でくすぶっていた恨みが、怒りの言葉と、きつい行為になって、現われたりすることがあるのです。人の怒りは神の義を実現しません。「怒りにまかせて、あんなことをしたのは、実に名案だった。」などと誰かが言うのを聞いたことはありません。私がよく聞くのは、怒ってやってしまったことを後悔する言葉です。怒りからの解放は、神様に聞くことにあります。神様の御言葉こそが私たちを平和へと導きます。ヤコブは、『みことばは、あなたがたのたましいを救うことができます。』（ヤコブ1:21）と言っています。

私たちがへりくだって御言葉をいただく時、神様は私たちに平和を吹き込んでくださいます。怒りを捨て去るようにおっしゃいます。そして、神様はご自分がお命じになることを、私たちが成し遂げられるように助けてくださいます。怒りの日々ですが、クリスチャンは怒れる人々にならなくてもよいのです。

聖歌 417

祈り 主よ、私たちの内にあなたの平和の御言葉を植え付けてください。御言葉が私たちの中で根付いて、私たちが怒りから遠ざけ、平和へとお導きくださいますように。イエス様のお名前によって祈ります。アーメン。

ノース・カロライナ州 ヘンダーソンヴィル
イーサン・ブラウン



6月16日(金)

究極のセキュリティ・システム

聖書朗読 詩篇 46篇

わたしは彼らに永遠のいのちを与えます。彼らは決して滅びることがなく、また、だれもわたしの手から彼らを奪い去るようなことはありません。
ヨハネ 10:28

安全保障は数十億事業です。安全は人間の基本的要求です。問題は、誰に、あるいは何に、自分の生活の安全を任せるかです。国や何か新しい科学技術が、私たちの生命を守る確実な安全保障を提供できるかのように、多くのクリスチャンがこの問題を論じているのを聞くと、非常に不安になります。

私は大学で伝道学を指導しています。以前、大学に在籍する学生の親御さんが、子どもを心配して電話をかけてきたことがありました。その学生は、海外の遠く離れた地での伝道活動に参加しようとしていました。「伝道グループの安全を保証してくれますか。」もちろん私は「できません。」と答えました。家から一歩も外に出ないとしても、安全の保証などできません。人間の生命は儚（はかな）いものです。私たちの安全への願いは、われらの避け所また力である神様に完全に頼らなければならないことを指し示しています。

詩篇46篇には慰めがあふれています。イエス様がおっしゃった、もっとも難しい教えの一つ、「自分のいのちのことで心配するのはやめなさい。」(マタイ6:25)を裏付けるものです。神様だけが、死ですら脅（おびや）かすことのできない(ローマ8:18~39)セキュリティ・システムを与えてくださるのです。神様に信頼していれば、だれも私たちが神様の手から奪い去ることはできません。

讃美歌 21 561

祈り 全能なる神様、ただあなたにだけ信頼することができるように教えてください。私たちが安全をあなた以外の何か、誰かに求めてしまう時、おゆるしください。イエスさまのお名前によって祈ります。アーメン。

テネシー州 ブレントウッド
アール D・ラヴェンダー

6月17日(土)

わたしを呼び求めよ

聖書朗読 詩篇 5:14~23

苦難の日にわたしを呼び求めよ。わたしはあなたを助け出そう。あなたはわたしをあがめよう。
詩篇 50:15

うしろから押し寄せるエジプトの軍勢と目の前に広がる紅海に挟まれ、イスラエルの子らは大いに恐れて目を上げ、選り抜きの戦車六百台が追撃のため宿営地に迫って来た時、主に向かって叫びました。モーセは民に言いました。「恐れてはならない。しっかり立って、今日あなたがたのために行われる主の救いを見なさい。主があなたがたのために戦われるのだ。」(出エジプト記 14:13~14) 実際には、主は戦われました。火と雲の柱が移動してイスラエルの陣営のうしろに立ち、エジプトの陣営と宿営地を隔てました。神様は紅海の水を分け、イスラエルの子らは海の真ん中の乾いた地面を安全に歩いて行きました。

エジプトの陣営を混乱に陥れるために、紅海のだた中で戦車の車輪を外してその動きを阻(はば)みました。逃げ場のない状態で、左右にそそり立つ水の壁が彼らの上にくずれかかり、残った者は一人もいませんでした。主は、その日、イスラエルをエジプト人の手から救われ、モーセとイスラエルの子らは、主に向かって救われた喜びと賛美の歌を歌いました。

私たちは、軍隊に追われたり、四方八方から人々に襲われたりはしないかもしれませんが、時々、困った状況に陥ることがあります。助けを求めて主を呼び求めるための時を持つのは弱さではなく、主が私たちのために戦われると信ずる信仰から来る強さです。『神を愛する人たち、すなわち、神のご計画にしたがって召された人たちのためには、すべてのことがともに働いて益となることを、私たちは知っています。』(ローマ 8:28)

聖歌 424

祈り お父様、あなたがすべてのものを支配しておられることを覚えさせてください。恐れずに、しっかり立って、あなたの救いを見ることができますように。困難にある時に、あなたが私たちの悩みからお救いくださることを信じて、御名を呼び求めることができますように。イエス様のお名前によって。アーメン。

ケンタッキー州 マウント・ワシントン
コニー・シンプキンス・トーマス



6月18日(日)

思い煩いから喜びへ

聖書朗読 詩篇 94:17~23

私のうちで 思い煩いが増すときに、あなたの慰めで私のたましいを喜ばせてください。
詩篇 94:19

よく思うのですが、心配事というのは、いつも持ち歩いている大きなカバンのようなものだ。長年かけて、カバンは、学校や仕事や健康やお金のやり繰りや家族や霊的なことに関する心配、疑い、恐れでパンパンになっています。心配事の抱え方は、人によってみんな違います。恐がる人もいれば、怒る人もいます。脇に押しやり、無視しようとする人もいます。カバンを肌身離さず抱えていて、どうやって中身を分析したらよいかと考えている人だっています。

神様に申し上げないで、心配事だけを口にしようとするのは、大惨事や心痛、眠れぬ夜を生む秘訣と言ってよいでしょう。神様の与えてくださる喜びと慰めを受けるためには、心を尽くして主に拠り頼み、自分の悟りに頼らない(箴言 3:5~6) ことが必要です。神様に拠り頼むということは、神様が望まれることを行うということです。

神様が私たちの思い煩いを欲しておられるということをご存じですか。ペテロの手紙第一 5章7節には、『あなたがたの思い煩いを、いっさい神にゆだねなさい。神があなたがたのことを心配して下さるからです。』とあります。私たちは本当に、いっさいの思い煩いを神様にゆだねているでしょうか。出し惜しみしていませんか。もっと悪いことに、一旦神様におゆだねしてから、神様の思慮と英知(ヨブ記 12:13)を差し置いて、自分の方がよくわかっているからと、取り戻したりしていませんか。時に私たちは何て愚かなのでしょうか。神様の御言葉通りに試してみてください。あなたの思い煩いを神様にゆだねて、慰められ、喜びを得てください。今日、何か心配していることがありますか。いっさい神様にゆだねて、荷を軽くしてください。

讃美歌 404

祈り 天にいますお父様、あなたの知恵、御言葉、お導きは私たちのものよりはるかに優っていることを知っています。あなたの思慮にゆだね、あなたの御言葉を聴くことができますように。あなたが願っておられるように、私たちの思い煩いをあなたにおゆだねして、荷を軽くすることができますように。御子イエス様のお名前によって祈ります。アーメン。

ペンシルベニア州 カーライル
ジェームズ・ディシエイ